

岩手郡医報

平成9年5月 No56
 編集 発行
 岩手郡医師会
 題字 雫石町高橋孝先生



雫石・銀河ステーション 写真提供 雫石町 高橋孝先生

平成9年3月22日、秋田新幹線が開業し、合わせてJR田沢湖線雫石駅「しずくいし銀河ステーション」が完成した。外見的には北欧の農舎風のデザインで、塔屋には「愛の鐘」があり、駅舎の至るところに宮沢賢治のイメージがみられ、一階の図書室「星めぐり館」には、賢治の童話やCDがある。二階に上る外壁には雫石町の四季をイメージしたステンドグラス風の飾りがあり、自由通路天井は星座が輝き、星が流れる。

秋田—盛岡間（127キロ）は、ミニ新幹線として従来の在来線を利用した山形新幹線のようなスタイルで「こまち」（5両編成）が走ることになり、開業して約1ヶ月が経ち、利用状況も大幅に増加し、トラブルも数件あったが、心配された踏切でのトラブルはゼロであった。

(M. S記)

目次	
雫石・銀河ステーション…………… 1	随想「こまち」が走る 雫石町 高橋 孝……………11～12
岩手郡医師会通常総会…………… 2	平成9年度社会保険診療報酬請求書提出協力日…12
会長挨拶…………… 2	新入会員・退会…………… 13
部会報告…………… 3～6	行事予定…………… 13
平成9年度岩手郡医師会事業計画…………… 7	岩手郡医師会理事会…………… 13
平成9年度一般会計予算書…………… 7	岩手郡医師会役員会…………… 14
平成9年度休祭日当番医予算書…………… 8	編集後記…………… 14
講演会「人生は楽しく」 はかま満緒 氏 …… 9～10	

社団法人 岩手郡医師会通常総会

日時：平成9年3月1日（土） 午後4：00より
場所：メトロポリタン盛岡 New Wing

- 1) 開会の辞
- 2) 出席者の確認
会員総数85名、出席者25名、委任状31名
- 3) 議事録署名人名選出
早藤一雄先生、谷藤一生先生
- 4) 会長挨拶
- 5) 報告・協議
 1. 各分会別報告 (1)総務、(2)保険、(3)学校医、(4)産業医、(5)労災、(6)広報、(7)健康教育、(8)福祉、(9)勤務医、(10)生涯教育、(11)医師連盟
2. 平成9年度岩手郡医師会事業報告(案)について
3. 平成9年度岩手郡医師会一般会計予算(案)について
4. 平成9年度岩手郡医師会休祭日当番医予算(案)について
5. その他
- 6) 講演会
『人生は楽しく』
講師 放送作家 はかま満緒 先生
- 7) 懇親会

◆会長挨拶要旨◆



高橋牧之介 会長

日頃、医師会の活動にご理解とご支援をいただき、改めて厚くお礼申し上げます。昨年を顧みれば、事故、事件、不祥事が相次ぎ波乱に満ちた一年だった。明るいニュースもあったが、行政絡みの暗いニュースの陰に隠れた存在となったのは残念でならない。今年は新規一転して信頼回復に努めてほしいものです。

今年は、丑年、明るい出来事を期待したいものです。

ところで、今年の目前に迫ったテーマは、少子高齢社会に対応した医療制度ないし医療保険制度の確立にあります。これらの問題は主に「医療保険審議会」「老人保健福祉審議会」「社会保障制度審議会」あるいは「中央社会保険医療審議会」において審議されております。各審議会の日医側委員は、1～2名で、多勢に無勢、最終的に数で押し切られるものではないかと危惧されます。

この医保審答申をうけて老人保健福祉審議会も答申し、議論はようやく国会審議の場へと移ることになったが、今後の国会審議も予断を許さないと思います。

われわれの大きな声や、各審議会における医師会の代表の努力にもかかわらず、与党が合意した内容は、高齢者や患者に負担増を強いるもののみのものであります。

今後、医療保険・老人保健の改正案は、通常国会に上程され、平成9年度予算編成へと進められるものと考えます。

今年も難問山積、厳しい情勢下にあります。日医、県医、郡市医師会との十分な連携を保ちながら、懸命に努力を重ねていきたいと思っております。会員の先生方の変わらぬご理解と協力の程お願いし、特に若いエネルギーに期待申し上げるものであります。

今年、新制岩手郡医師会創立50周年を迎えます。少なくとも明るい明日への第一歩を踏み出すよい年でありますよう祈願するものであります。

報 告

〔総務〕

担当理事 及川 忠 人



及川忠人 理事

昨年の7月6日の通常総会以後の活動の概要を要点のみ申し上げます。

まず、総務会は、毎月、理事会は隔月に行われております。

◆7月26日に平成8年度第1回盛岡地域重度身体障害者自立支援ネットワーク推進協議会（B地区：葛巻、岩手、安代、西根、松尾）が開催され、岩手保健所管内の町村から福祉・保健担当者および盛岡振興局生活福祉部の事務局長そして岩手県更正相談所、岩手保健所、当院の作業療法士等が集まり保健と福祉の連携ネットワークを作るために症例を持ち寄り検討する会がもたれ、その後2回の症例検討、リハ施設研修、全体のまとめと隔月に開催され、12月に終了致しまして、現状の課題を浮き彫りにすることになりました。

◆8月3日には第1回岩手県医師会成人病検診協議会が開催され、特に各種癌検診の精度管理の方法や登録医療機関の判定基準について検討され、原則的には手上げ方式で郡市医師会の管轄のもとに手上げ方式を採用すること等が決定され平成9年1月23日には昨年9月に締め切られた登録医療機関の精密検査医療機関としての妥当性についてその判断基準により吟味がなされた。

◆平成8年9月7日には救急医療懇親会が平石町で開催され、8か町村の総務課長および保健課長および盛岡消防署の担当課長の出席を得て、救急医療の現場での問題点や岩手郡医師会救急災害対策要領の見直しについて検討が加えられた。

◆さらに平成8年10月14日には盛岡地域保健医療計画推進連絡会が開催された。この席で今回のO-157への対応が極めてスムーズに行われ各関係者の緊密な連携が二次感染

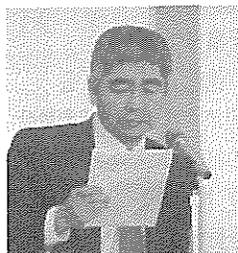
が起こらなかった大きな要因であったとの報告がなされた。さらに盛岡医療圏における各市町村での問題点が出され、地域保健法の改正にともなう保健所統廃合の問題、高齢化、少子化対策、施設拡充の問題などが論議された。

◆11月30日には恒例の忘年会・文化講演会が開催され、作家中津文彦氏の「平泉はなぜ滅びたか」という演題で聴衆を魅了した。

◆平成9年1月11日には県医師会・県歯科医師会の合同新年会が開催され盛会裡に終了した。その後2月22日には県医師会代議委員会が開催され、平成9年度の活動計画が承認された。

〔保険〕

担当理事 佐々木 久 夫



佐々木久夫 理事

平成9年4月1日実施予定の消費税率引き上げに伴う診療報酬改定について、去る2月21日に厚生大臣より諮問され、同日の中医協総会において答申が行われ、本年4月1日より実施されることになりましたが、今回の診療報酬改定についての

伝達と内容説明のための伝達会を後日開催しますので、日時は追って連絡します。

〔学校医〕

担当理事 上 原 充 郎



上原充郎 理事

平成8年1月19日県医師会館において幹事会が開かれ、次のような報告、協議がありました。

◆平成8年度岩手県医師会学校医部会活動状況
H 8. 6. 24 第1回学校医部会幹事会

- H 8. 8. 25 第8回東北学校保健・学校医大会
於 宮城県
- H 8. 11. 16 平成8年度第27回全国学校保健・学校医大会 於 佐賀県
- H 8. 12. 5 県教育委員会との懇親会
- H 9. 1. 18 日医主催平成8年度学校保健講習会
於 日本医師会館大ホール
- H 9. 1. 19 第13回岩手県学校保健・学校医大会
- H 9. 1. 19 第2回学校医部会幹事会
- H 9. 2. 2 日医主催平成8年度乳幼児保健講習会
於 日本医師会館大ホール

◆平成9年度学校保健事業計画

- (1) 第14回岩手県学校保健・学校医大会の開催
- (2) 小児成人病予防対策
- (3) 心臓検診活動の推進
- (4) 児童生徒の心の健康への取り組み
- (5) 学校保健委員会活動の推進
- (6) 幼稚園医保育園医の組織化
- (7) 学校保健関係機関との連携

◆平成9年度学校保健行事予定

- H 9. 6 第1回学校医部会幹事会
- H 9. 7 第7回小児成人病予防対策委員会
- H 9. 9. 13 第9回東北学校保健・学校医大会 於 福島県
- H 9. 11. 県教育委員会との懇談会
- H 9. 9. 27 平成9年度第28回全国学校保健・学校医大会
於 鳥取県
- H10. 1. 18 第14回岩手県学校保健・学校医大会
- 第2回学校医部会幹事会
- H10. 1. 日医主催平成9年度学校保健講習会
於 日本医師会館大ホール
- H10. 2. 日医主催平成9年度乳幼児保健講習会
於 日本医師会館大ホール

〔産業医〕

担当理事 八角正司



八角正司 理事

平成8年10月1日からの、労働安全衛生法の改正により、産業医は産業認定医に限定されることになりました。

現在は暫定期間になりますので、認定医の資格をまだ取得

されていない先生方は、研修会に出席の上、所定の単位を充たして下さい。

各産業医は、事業所との契約をされる様お願いします。

〔労災〕

担当理事 篠村達雄



篠村達雅 理事

4月1日より社会保険の診療報酬の改定がありますので、労災はいつものように5月頃に改定があると思われま。

◆自賠責保険について

大蔵省の自動車賠償責任保険審議会は、①生命保険会社の損害保険子会社と全労済グループの自賠責保険参入、②今年5月1日から自賠責保険の保険料率を引き上げるための審査期間を短縮する。……などについて諮問案どおり答申しました。その審議会で日本医師会は昨年に続き、民間医療機関への運用益活用や障害事故支払限度額の引き上げを要望しています。

自賠責診療費の新基準は33道府県で採用しており、新基準の採用により、値切りや支払い遅延などのトラブルが減少したと報告されています。岩手県では最近トラブルはないようですが、新規参入企業の動向があるので、トラブルの発生も危惧されます。

〔広報〕

担当理事 嶋 信

県医師会発行の「いわて医報」は毎月皆様のお手許に届いていると思いますが、これには十分目を通していただき、各種行事、講演会にはできるだけ参加していただきたいと思います。また、その年の年男・年女の方々が登場する新春随想の1月号及び緑陰随想の8月号には積極的に参加していただきたい。

われわれの「岩手郡医報」は、

- 1) 岩手郡医師会内での行事
 - 2) 役員が各種委員会・行事に参加したもの
 - 3) 郡内各地区でのいろいろな行事
- などについての報告を取りまとめて、現状は3～4ヶ月に1回の割合で発行しています。

これからも身近な話題や地区での研修会のことなど簡単なメモでも結構です。また写真に興味のある方は簡単な説明を入れて写真と共に医師会事務局まで送って下さい。

「医報」に親しみ、医師会活動への参加を!

〔健康教育〕

担当理事 柝内 秀彦

(代読)

岩手県並びに岩手県医師会主催の「平成8年度県民健康講座」が平成9年1月22日、1月29日、2月5日の3日間に亘り、西根町民センターにて開催されました。

1日目は：開講式として、岩手県岩手保健所長・岩手郡医師会長・西根町長の挨拶で始まり「中高年の健康管理」と題し玉田先生と、「脳梗塞について」と題して及川先生に、それぞれ講演していただきました。

2日目は：「よりよい生のために」と題して細井先生と、「中高年の婦人科疾患」と題して嶋先生に、

最終日は：「糖尿病について」と題し小野先生と、また「ターミナルケアについて」と題して高橋会長に、

それぞれ講演していただきました。

参加者も1日目129名、2日目133名、3日目138名と日を追う毎に多くなり、延べ400名の参加がありました。

又、講演終了後、高橋会長・岩手保健所長・西根町長の挨拶と共に修了証書授与式も行われ、岩手保健所の閉会の挨拶で全て終了しました。

○お忙しい中、御協力していただきました講師の先生方に感謝申し上げます。

○尚、来年度は滝沢村が当番となります、来年度も郡医師会の先生方に講師をお願いする事と思われまますので、御協力をお願い致します。

〔福祉〕

担当理事 坂井 博毅



坂井博毅 理事

高齢社会を迎え、医療を取りまく環境が極めて厳しい昨今、会社や家族そして医療従事者の福祉事業は医師会活動として重要な一翼を担わなければなりません。しかし残念ながら

先人が提案実行した従来の医師年金、各種損害保険その他の事業を超越する時代に即応したアイデアがなかなか生まれていませんが、医療訴訟が絶えない今日、今一度先生方の損害保険加入状況をチェックしていただきたいと思います。

新規事業のご案内が出来ない事を、長年福祉を担当した理事の一人として責任を痛感致します。アイデアをお寄せ下さい。

今年度も医師会会員相互の親睦を計るため親睦野球大会が東磐井郡医師会担当で8月24日、ゴルフ大会は紫波郡医師会担当で、盛岡南ゴルフクラブで9月23日、県医師会の事業として盛大に開催される予定です。その他テニス大会、海釣り大会など同好会としての各種イベントが予定されています。

又岩手郡医師会としては、郡医師会のゴルフ愛好会主催の会長杯争奪ゴルフ大会が春は5月25日、安比高原ゴルフクラブで、秋は9月頃（日程未定）開催されます。

その他、医師信組協賛の平成9年度の保健体育事業として、会員とパラメディカルのレクリエーション大会を企画しております。会員の先生方の多数の参加を希望します。以上福祉担当からの報告並びにお願いと致します。

〔勤労医〕

担当幹事 佐藤 郁郎



佐藤郁郎 幹事

第19回県医師会勤務医部会総会が、平成9年3月1日午後3時より県医師会館大ホールにおいて開催されております。丁度本日であり、総会終了後学術講演会が行われています。

講演Ⅰ

「新生児呼吸窮迫症候群の克服への道程」

講師 岩手医科大学小児科学講座教授

藤原 哲郎 先生

講演Ⅱ

「当院における医療情報システムの現況と今後の方向性」

講師 亀田クリニック院長

亀田 省吾 先生

〔生涯教育〕

担当理事 岡本 彰



岡本 彰 理事

平成8年度中に行った学習について、該当する項目に取得単位を記入してください。

- ・「1. 講演会・講習会等への参加」については、参加証明が必要です。

- ・「2. 体験学習」、「3. 各種業績」については、日付、名称（内容）の記録を添付してください。証明は必要ありません。

また、日本医師会の生涯教育申告制度は、生涯にわたる学習の動機付けの役割を担うものとしてスタートしました。しかし本制度は、今日、厚生省がねらっている「保険医の定年制・定数制」などの構想に対する「防波堤の役割」までも担うことになってきています。

平成8年度の生涯教育申告書提出期限は4月15日です。ご多忙のこととは思いますが、申告へのご協力をお願い申し上げます。

尚、生涯教育申告率は、

	診療所	病院
岩手県	65.1%	36.9%
岩手郡	79.5%	64.9%
全国平均	52.8%	25.6%

〔医師連盟〕

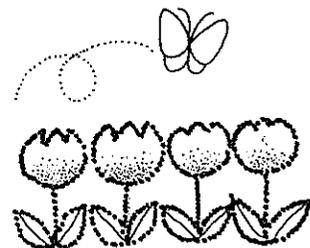
担当理事 根本 忠夫



根本忠夫 理事

2月18日（火）日本医師会館で行われた都道府県医師連盟の会議において、坪井栄孝日医会長は来年7月にも予想される第18回参議院議員選挙において比例代表に宮崎秀樹候補を推薦したいので、御

協力をお願いします、との報告があった。



平成9年度岩手郡医師会事業計画

二十一世紀に向けた医療の動向は、世界的な規模で変化しようとしている。疾病構造の変化、少子化と急速な高齢化、多様化する患者ニーズに対応しなければならない。

国民医療体制の創造に向かって、保健、医療、福祉の総合的展開は必要不可欠である。

一方、政局は波乱、経済はやや明るい兆しをみせつつあるものの、医療保険制度改悪等により、医療機関の経営は危機的状況にあり、良質な医療提供は困難を極める事態が憂慮され対応策が急務である。

当面する課題に医師会は、自治体との連携を密に、各領域の諸施策に積極的に参画し、地域医療確保のため総意を結集しなければならない。

そのためには、県・都市医師会と密接な連携をとり、会員一人ひとりの理解と協力が必要である。

つぎの事項を重点事業とする。

1. 医道による濟世
2. 県医師会の事業への全面協力
3. 医政の強化
4. 有効な地域医療活動の展開
5. 会員福祉の充実
6. 保険診療の適正化
7. 生涯教育の実践
8. 医業経営の安定
9. 地域住民への健康教育の啓蒙
10. 関係団体との連携

平成9年度・一般会計予算書

自・平成9年4月1日
至・平成10年3月31日

社団法人 岩手郡医師会
単位：円

〈歳入の部〉

科 目	金 額	摘 要
繰越金	5,515,000	前年度より繰越
会費	5,535,000	A会員 45人 4,275,000 (@95,000×45人) B会員 39人 (内免除3人) 1,260,000 (@35,000×36人)
補助金	508,000	県民健康講座 425,000 地域医療 28,000 学校医 55,000
雑収入	30,000	預金利息
合 計	11,588,000	

〈歳出の部〉

科 目	金 額	摘 要
[事業費]	(10,138,000)	
会議費	2,600,000	総 会 2回 1,200,000 理 事 会 6回 600,000 総 務 会 12回 600,000 監 事 会 1回 100,000 県医総会費 1回 100,000

担当部会別 活動費	700,000	総務 50,000 産業医 100,000 学校医 50,000 保険 100,000 福祉 50,000 地域医療 100,000 広報 50,000 労災 50,000 勤務医 100,000 健康教育 50,000
生涯教育費	1,900,000	医学向上費 800,000 学校医研修会 200,000 スポーツ医学研修会 100,000 救急医療対策費 200,000 生涯教育連絡会 200,000 地域医療研修会 200,000 予備費 200,000
地域保健	700,000	各町村の地域保健懇談会 600,000 他郡市との懇談会 100,000
広報発行費	658,000	印刷費 6回 500,000 発送費 6回 72,000 編集会議費 50,000 雑費 36,000
租税公課	80,000	
旅費交通費	1,300,000	
交際費	1,000,000	
慶弔見舞金	600,000	
広告賛助金	200,000	
雑費	200,000	
予備費	200,000	
[事務費]	(1,450,000)	
事務費	1,450,000	事務連絡費 100,000 通信費 500,000 消耗品費 300,000 印刷費 100,000 リース料 230,000 事務処理費 120,000 雑費 100,000
合計	11,588,000	

平成9年度・休祭日当番医予算書

自・平成9年4月1日

至・平成10年3月31日

社団法人 岩手郡医師会

単位：円

〔歳入の部〕

科目	金額	摘要
繰越金	5,500,000	前年度より繰越
補助金	3,846,000	
雑収入	14,000	預金利息
合計	9,360,000	

《歳出の部》

科 目	金 額	摘 要
報 償 費	7,080,000	健康教育費 1,680,000 (@20,000×84人) 生涯教育研修費 600,000 医政施策費 600,000 救急対策費 500,000 町村との連絡協議会 1,400,000 県医野球大会 600,000 県医ゴルフ大会 100,000 郡学校保健会補助金 100,000 講演会・合同研修費 1,000,000 厚生対策費 500,000
需 要 費	400,000	会 議 費 3 回 300,000 通 信 費 ・ 消 耗 品 費 100,000
旅 費 交 通 費	1,000,000	
役 務 費	180,000	印刷費 100,000 通信電話料 80,000
慶 弔 表 彰 費	500,000	
予 備 費	200,000	
合 計	9,360,000	

◆講演会

『人生は楽しく』

放送作家 はかま 満 緒



放送作家
はかま満緒氏

〈講師紹介〉

- 人物・特徴：いま全国で最も喜ばれている講演会講師として日本テレビで紹介された放送作家。昭和12年東京生まれ。東京放送（現TBS）を経て、放送作家となり、「シャボン玉ホリデー」など人気TV番組を作る。現在出演しているNHK・FM「日曜喫茶室」は、20年間好評放送中。
- 職歴・経歴：放送コントを手掛ける。また自らもテレビ「脱線問答」（受賞歴）や「朝のワイドショー」などの司会としてブラウン管に登場。NHK教育TVの「テレビ・コラム」では、ワサビのきいた世相を斬る小話で多くのファンを得る。この間、萩本欽一やポール牧などの多くのコメディアンを育てる。昭和38年度芸術祭・大衆芸能部門文部大臣賞、昭和62年度芸術祭・芸術大賞をそれぞれ受賞。一方、社会活動として(財)グリーンクロスジャパン（環境庁認可）理事。(社)虹の会（厚生省老人福祉振興課所管）理事。(財)大田区文化振興会理事を努めている。
- 指導・内容：『健康と楽しい人生』、『ビジネスに役立つソフト精神』などのテーマで、超高齢化社会を健康で過ごす方法からマルチメディア時代への対応まで、爆笑の中に健康と幸せ、経営の哲学などを紹介し、好評。
- 著 書：「はかま満緒の放送史探検」「オトナの歌集」「人生万能薬」など。

〈要旨〉

昭和30年代のTV全盛の頃、放送作家として番組の台本を書いていた。当時の番組としては、NTV（日本テレビ）の看板番組も多くあり、その一つに日曜夜放送の「シャボン玉ホリデー」というのが約10年続いた。前半の5年間は、当時売れっ子放送作家であった青島幸男氏（現東京都知事）が担当し、後半の5年ははかま氏が担当したという。当時は台本を書くばかりでなく、ザ・ピーナッツ（双児の歌手）やハナ肇（故人）とクレージーキャッツ（バンド仲間）等と一しょに画面にも登場していた。そのためにあなたの職業は「タレント」とか「俳優」ではないのかと仲間から冷やかされた。実際は放送作家であり、その他萩本欽一、坂上二郎両氏の「コント55号」とか、三波伸介（故人）、戸塚昌夫（故人）、伊東四郎氏等の「てんぷくトリオ」などの台本を盛んに書いており、大人から子供まで支持され、笑い、ユーモアが大衆に不足していたのかもしれないが大変な反響があった。

その後はビートたけし（北野武氏）や所ジョージ氏などタレントに協力している。

現在はNHK・FMのラジオ番組「日曜喫茶室」を約20年続けている。NHKではまだ長寿番組があり、森繁久弥氏の「日曜名作座」が約37年続いている。まだまだ追いつかないが、これに負けじと続けてみたいと思っている。

またNHKというところは非常に言葉づかいのうるさいところで、ちょっとした間違いでもすぐ視聴者から電話や投書が殺到する。例えば「きょうの健康」というTV番組で「子宮がんについて」を取り上げた際、ある高名な婦人科の先生が、アナウンサーの「子宮のどの辺にがんはできるのですか」との質問に、「子宮の入り口に出来易い」といったという。そうしたら番組終了後、電話やら投書、約108

通の問い合わせがあったという。

「男性にとっては入口かもしれないが、女性にとっては入り口とはどこの部位を指すのか」ということらしい。

早速担当者で約3時間に亘って協議した結果、結論が出ず、NHK番組審議委員会にまで諮られたという。

協議の結果、その解答は「子宮の出入口」ということに一件落ち着いたという話など……

ちょっとした言葉のはずみで出たことなど問題提起するので慎重に言葉を選んで話さなければならぬということがわかった。

講演会は全国いろんな所で講演していますが、宮城県のある建設会社に招かれたとき、午後1時からの講演なのに午前中に仙台に到着してしまった。ところが当日の新聞にこの会社の「汚職事件」が明るみに出て載ってしまった。このときバツの悪かったことがなかったという。何を話したらいいのか、そそくさと帰ってきたというが、このとき昼食時間に係の女性が関係者に「お食事券」はいかがですかと呼びかけるシーンを目撃してしまった。何回も連呼するので、役員の人が気がついて、「お」はつけなくていいよとソツとささやいていたのが印象的であったという。即ち「オショクジケン」ではなく「ショクジケン」で十分とのこと。

このようにいろいろな症例を混じえて、休みなく、ユーモアに富んだウィット（洒落）のある言葉を選ぶ工夫も必要であろうと思われる。

また時にはジョークも混じえてこれからの人生を大いに笑いながら楽しく過ごす必要があろうと結ばれた。

随想

『こまち』が走る

雫石町 高橋 孝

「雫石アネッコなにして美人だと聞くだけ野暮だんす、美人野菊の生まれ在所お前達知らねえのが」昨年の歳末チャリティショー時に、秋田音頭の替え歌で私が歌った歌詞だが、秋田美人、小野小町の名前を取って「こまち」と言う愛称の新幹線がはしる。文献を調べても小野小町が秋田に生まれたかは確証は無いが、美人で、あふれるばかりの教養と才能の持ち主であったことは間違いない。この美貌、才能にとりつかれ、百夜通いを約束し、九十九夜通い百夜目に息絶えた深草少将の悲しい物語りが謡曲に謡われている。十二単衣に身を包み、たま簾の中で優雅な一時もあっただろう。「花の色はうつりにけりな……」の歌も好きだが、私は古今集797の「色見えてうつろうものは世の中の人々の心の花にぞありける」の歌が胸を打つ、人の心は花の様に色や形では見えないが、変わって行くのは人の心で、燃えるような熱い恋も知らぬ間にはかなく色褪せるのにと、小町は勅撰和歌集の中に歌が選ばれ、夢に夢を重ねて妖艶な歌を残し、連なり来る求愛の文、男共を寄せ付けず、寂しく世を去った。我が雫石町の記事に残る美人野菊は、小野小町の様に派手さは無いが、健康さを感じる。滴石城の城主戸沢様が狩りの帰りに美しい野菊と出会い、その美しさに魅せられ、側女として城に迎えた。野菊は小町以上に美人と言いつたに伝えている。野菊に因んだ場所はダムで御所湖に沈んだが、野菊の家があった所に野菊の花が、黄色、赤色、紫色と沢山咲いて居る泉があり、お墓もあり、お墓からは野菊の櫛が出て、お寺に保管されている。これらから、雫石町民皆が野菊の女性像を考えてきた。城主が見た野菊は、目が大きく、鼻も高く、彫の深い浅黒い顔をした、

髪は肩を越えて伸び、膝が少し隠れる位の一衣を着て、素足に草履を履き、片手に笛を持っていただろう。いつも泉で髪を洗い、髪を乾くまで風に吹かれながら笛を吹いている野菊を村人は見かけたし、その美しい音色は、川風に乗って村々に響いた。狩りからの帰りの多くの武将がお城に招かれた。馬の背からどすん、どすんと目が黒く変わった鹿の獲物が庭に降ろされ、寒月は煌々と照り、松、樺の枝のシルエットをつくり、武将は大狐の宴の館へ吸い込まれて行った。しばらくして宴も酣となり、城主が「一差し舞うぞノ野菊笛をノ」と申され、「ピーピー」と凍りつくような澄んだ音が天守閣からお城を包み、庭の木々にこだまし、羽を休める木の枝の小鳥達も微動だにせず、静かに聞き入ったと言う。村人達は遠くお城から聞こえてくる笛の音を聞きながら、美しく、可愛い村のアイドル野菊の幸せを願った。しかし野菊の幸せも長くは続かず、或る宴で「腹圧」をかけすぎ、プーと放屁の粗相があり、お城を追われる身となります。しかし野菊も十二単衣は着なくても、また簾の奥で殿のご寵愛をうけて、この時野菊は殿のお子を宿していた。この不幸な出来事の間泉の野菊の花は一輪もさかなかつたと



言う。幾年月を経て、この様なお話しにつきものの、一生「おなら」をしない人が蒔くと「金のひょうたん」のなる種を売り歩く少年を

城下に見かける様になった。この少年こそ野菊と戸沢城主の間に出来た子供で目出たくお城に親子が召し抱えられ、幸せに暮らしたド。ドンドハレ。

雫石には「野菊二度咲く、三度咲く」と言う祝い歌があり、以来野菊の泉の野菊が美しく咲いたそう。私は長谷川寛一先生と町内に住む画家深沢門太氏三人で彫刻のある街造りの会を作って、勿論町より補助金を戴き、合計10基を雫石町内に設置予定でいるが、岩手大学教育学部特設美術、彫刻科薬谷教室の全面的協力の下で二基は抽象作品で「山と雲」「はたん雪」でアルペン広場にそれぞれ設置した。三基目の彫刻がこの野菊物語をイメージした作品を発注した。大理石でやや等身大

で具象作品で長髪の女が笛を吹いている立像である。秋田新幹線が開通する3月22日に「銀河ステーション雫石駅」の広場に設置、除幕した。秋田美人の元祖「こまち」が走るのを「美人雫石あねっこ」の元祖が見守ることとなりました。最近戸沢城主と野菊が秋田県西木村に移り住み、二人の間に沢山の美人が生まれた史実をあげて村おこしを考えているようだが、秋田美人もルーツは野菊ではないかと思われる。野菊が笛の名手だった史実も確証もないが、町に画家深沢紅子の代表作「笛吹く農婦」百号が寄贈され、常に目に焼き付いて野菊もきっと笛の名手だろうと思われてならない。一度銀河ステーションを見においで下さい。

平成9年度社会保険診療報酬請求書の提出協力日について

この度、岩手県社会保険診療報酬支払基金より、平成9年度における社保診療報酬請求書の提出協力日について、次のとおり連絡がありましたので、ご協力下さるようお願い致します。

記

平成9年	4月提出協力日	4月7日(月)
	5月	5月7日(木)
	6月	6月6日(金)
	7月	7月7日(月)
	8月	8月6日(木)
	9月	9月8日(月)
	10月	10月6日(月)
	11月	11月6日(木)
	12月	12月5日(金)
平成10年	1月	1月8日(木)
	2月	2月6日(金)
	3月	3月6日(金)

注1. 通常月 6日(午後5時まで)

注2. 特定月

平成9年	4月7日(月)
	5月7日(木)
	7月7日(月)
	9月8日(月)
	12月5日(金)

…(12月は年末休日及び年内支払という理由から、定例としてこの日が提出協力日となっている)

平成10年 1月8日(木)

注3. 通常月の提出協力日は6日であるが、その日が土曜日(完全週休2日制が実施されており、休日となっている。)又は日曜・祝祭日の場合には、提出協力日が月曜日となります。

注4. 各月の提出協力日における受付は、午後5時までとなっております。

新入会員・退会

新入会員

①氏名：藤 沢 勲 先生
(安代町田山診療所)

②年 齢：44歳

③出身地：神奈川県川崎市

④出身校：山形大学(昭54年卒)

⑤診療科目：内科

⑥勤務の時期：平成9年4月1日

⑦趣 味：陶芸

⑧ひとこと：東京の病院に勤務していましたが、後半の人生は、緑豊かな地で過ごしたいと思い、引っ越ししてきました。よろしくお願ひ申し上げます。

①氏名：成 島 勝之助 先生
(成島整形外科医院)一玉山村好摩

②年 齢：41歳

③出身地：岩手県盛岡市

④出身校：岩手医大(昭56年卒)

⑤診療科目：整形外科

⑥勤務の時期：平成9年4月22日

⑦趣 味：ジョギング、ゴルフ、パソコン

⑧ひとこと：整形外科医として間違いのない診療をしていきたいと思ひます。

①氏名：伊 藤 浩 信 先生
(滝沢中央病院)

②年 齢：34歳

③出身地：盛岡市

④出身校：岩手医大大学院(平3年卒)

⑤診療科目：外科

⑥勤務の時期：平成9年4月より

⑦趣 味：ドライブ、スキー

⑧ひとこと：外科に限らず地域医療に貢献したいと思ひます。

退 会

佐藤 一 (田山診療所) → 岩手医大へ

吉田 寿子 (滝沢中央病院)

佐藤 敏通 (県立沼宮内病院) → 県立千厩病院へ

高橋 真 (県立沼宮内病院) → 松園病院へ

鈴木 順 (町立葛巻病院)

行 事 予 定

- H 9 . 6 . 29(日)岩手県医師会総会 於 県医師会館
AM10:00~県医師会総会
10:30~岩手医学会総会
10:40~11:40
特別講演「癌抑制遺伝子」
岩手医大 里館良一先生
13:00~岩手県医師会50周年記念式典
於 教育会館

記念フォーラム

「21世紀の社会保障はどうあるべきか」

- H 9 . 7 . 12(土)岩手郡医師会総会
於 メトロポリタン盛岡NEW WING
- H 9 . 8 . 24(日)岩手県医師会親睦野球大会
於 千厩町
- H 9 . 9 . 23(火)祝日 岩手県医師会親睦ゴルフ大会
於 盛岡南 G . C

岩手郡医師会理事会

日 時：平成9年2月14日(金)午後6:00より
場 所：盛岡市メトロポリタン盛岡NEW WING
出席者：高橋牧、西島、高橋孝、八角、根本、
坂井、佐々木、及川、上原、篠村、
岡本、嶋、枅内、佐藤

議 題

1. 通常総会開催について(3月1日開催)
各部会別報告
1) 総務 2) 保険 3) 学校医
4) 産業医 5) 労災 6) 広報
7) 健康教育 8) 福祉 9) 勤務医
10) 生涯教育 11) 医師連盟 12) その他

議 事

- ①平成9年度岩手郡医師会事業計画(案)について
- ②平成9年度岩手郡医師会一般会計予算(案)について
- ③平成9年度岩手郡医師会休祭日当番医予算(案)について
- ④その他
2. 新制岩手郡医師会50周年
3. 平成8年度痴呆症患者セミナーの実施について
4. 次期通常総会について
5. 今後の行事予定
6. その他

岩手郡医師会役員会

日 時：平成9年4月16日(木)午後5時30分より

場 所：岩手県医師会館 第3会議室

出席者：高橋牧、高橋孝、西島、佐々木、嶋、
柄内、及川、岡本、上原、八角、
根本、坂井、佐藤、細井、高橋

1. 生涯教育制度申告書の提出について
2. 第49回岩手県医師会総会について
3. 岩手郡医師会通常総会について
4. 岩手郡医師会50周年記念行事について
5. 平成9年度医師会費賦課額について
6. 平成9年度保健体育事業開催計画の提出について
7. 公務員医師の地域医療活動の報酬について
8. 雫石町一健康診断の時間割作成について
9. レセプトA4判化について
10. 週40時間労働制への移行・労働時間のカウントについて
11. 労災査定通知について
12. 三歳児検診事業
13. 採血を伴う検診実施について
14. 平成9年度県民健康講座の開催について
15. 健康教育費の配分について
16. 岩手県医師会親睦野球・ゴルフ大会参加について
17. 岩手郡医師会ゴルフ大会愛好会の開催について
18. 岩手郡医師会の任期満了に伴う役員改選について
19. その他

編集後記

◆長かった冬期間から解放され、ようやく温かい日が続いています。道路端の沿道から家庭菜園などに見られる黄色とか白色の水仙が一斉に開花し、さわやかな春風を浴びて気分も爽快になる今日この頃です。これからも山々の樹木の花も咲き、緑の美しい初夏を迎えることとなります。

◆総会における平成9年度事業計画や予算については順調に承認され、4月より執行されることとなった。各部会報告もそれぞれ担当理事より行われた。

◆昨年11月30日の講演会(作家 中津文彦氏)に続いて、今回も文化人・放送作家はかま満緒氏の講演を拜聴することができ、非常にユーモアあふれる、ウィットに富んだ話しの内容であり、聞く人を飽きさせない楽しい一日であったと思います。まじめな医学の話しよりは皆さんじっくりと聞きほれ

ていたのではないのでしょうか。

◆全国各地からお呼びのかかる講演会講師としてのはかま満緒氏は、先日の講演会でも数名の有名人(中曾根康弘氏、石原慎太郎氏、長嶋茂雄氏など)などの名前がでましたが、これらは広い交遊関係を示すものと思われま。

◆秋田新幹線「こまち」は、3月22日の出発進行より人気は上々のようで、行楽シーズンには観光客で沿線の行楽地は賑わうことと思います。

秋田では飛行機の利用を止めて、JRを利用して上京する(JRのCM)人々が増えているという。

◆高橋孝先生より、今回は秋田新幹線、雫石銀河ステーションの開業に伴う話題について書いていただきました。ありがとうございます。

(M. S記)